BANDO

Breakthroughs for the future

第91期中間 株主通信

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

バンドー化学株式会社

ご挨拶

代表取締役社長

吉井満隆

株主の皆様には、日頃は格別のご高配に預かり、心からお礼申しあげます。第91期中間株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかな回復傾向に向かったものの、欧州は依然景気低迷が続いております。また、近年世界経済をリードしてきたアジア地域においても、中国の景気拡大のテンポが緩やかになるとともに、韓国、タイ、インドの成長率も低下してきました。一方、我が国経済は、円高の是正が進み、輸出関連企業の業績が持ち直してきていますが、未だ政策期待が先行し、実感を伴う回復が待たれる状況となっております。このような経営環境において、当社グループは10年後のあるべき姿を描き、それをもとに当面の5年間で何をすべきかを設定した新しい中期経営計画“Breakthroughs for the future”（未来への躍進）に沿って、事業部間のシナジーを発揮しやすくすることを狙いとした事業本部制への移行を行ったほか、新事業開発のための専門部署設置、国内販売会社の統合、アジア地域における市場開拓や製品開発の促進に取り組んでまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は465億6千万円（前年同期比6.5％増）となり、営業利益は32億3千万円（前年同期比28.6％増）、経常利益は37億5百万円（前年同期比33.8％増）、四半期純利益は27億6千2百万円（前年同期比57.7％増）となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

中長期経営計画の着実な推進に向けて

Q 「グローバル市場戦略の進化」について取り組み状況はいかがでしょうか。

A 円安による追い風もあり、現状は、海外売上高も伸長しており、概ね順調に進んでいます。具体的には、インドの新工場は今年3月に本格稼働しましたが、主力の自動車用ベルトをはじめとする現地の旺盛な需要に対応して、当下期に生産設備をさらに増強する計画です。ベトナムの新工場も二輪車用ベルトの販売が好調に推移しています。タイでは伝動ベルト等の生産設備の拡充を進めています。これらの市場は今後も成長を見込んでいます。中国では様々な産業分野への拡販活動を強化していることもあり、比較的堅調です。そのほか、米国においては、自動車OEM向けに加え、産業機械や補修市場への取り組みを強化する等、グローバル市場戦略の進化を加速させてまいります。

Q 中長期経営計画の推進に向けて意気込みをお聞かせください。

A 中長期経営計画は既存事業のグローバルでの拡大と新製品や新しい事業を創出することを目的に、策定いたしました。そのために今年4月に組織改編を行いましたが、ベルト事業本部とエラストマー製品事業本部の2事業本部が中核となり、グループ会社を統括することによって、目下、各事業戦略を強力に推進しております。当社グループの10年後のありたい姿として定めたベルトおよび機能製品分野において、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指して、「グローバル市場戦略の進化」、「製品の進化」、「ものづくりの進化」、「新事業の創出」、「経営品質の進化」の5つの指針を掲げ、今後、グループ一丸となって、中長期経営計画を着実に推進してまいります。

TOPICS

2013
1月〜3月

1月 連結子会社であるBando(India)Pvt. Ltd.がインド・バンガロールに工場を新設

1月 連結子会社であるBando Manufacturing (Thailand)Ltd.がタイにテクニカルセンターを開設

3月 西兵庫開発株式会社(ゴルフ事業)の全株式を株式会社アイランドゴルフに譲渡

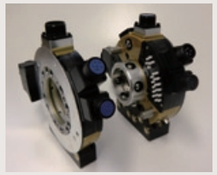
3月 バンドーテクニカルレポートNo.17を発行

4月

4月 連結子会社である東日本バンドー株式会社が北海道バンドー株式会社を合併

4月 連結子会社である西日本バンドー株式会社が九州バンドー株式会社を合併

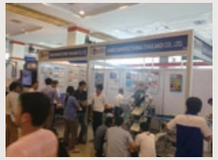
4月 連結子会社であるビー・エル・オートテック株式会社が新世代ロボット用クイックチェンジ「QUICK-CHANGE ZEUS」(150〜230kg可搬)を販売開始



5月

5月 中長期経営計画 "Breakthroughs for the future"(未来への躍進)を発表

5月 「Intermach2013」に出展(バンコク国際貿易展示場)



6月

6月 「台湾国際モーターサイクルショー」に出展(台北世界貿易センター)

6月 敷くだけのフロアサイン「STOP SHEET」を開発

6月 「FOOMA JAPAN2013」に出展(東京ビッグサイト)

6月 「M-Tech2013」に出展(東京ビッグサイト)

7月

8月

8月 「CSR報告書2013」を発行

9月

9月 連結子会社であるバンドー興産株式会社が「BANDO eco moving 足利太陽光発電所」を開設

トピックス

2013年6月

敷くだけのフロアサイン「STOP SHEET」を開発

昨今、店舗の床面を活用したキャンペーン、告知の普及が進んでいますが、当社では装飾表示用フイルム「バンドーグランメッセ®」シリーズとして、敷くだけのフロアサイン「STOP SHEET(ストップシート)」(特許 第4217811号)を開発しました。

従来は床面に接着剤で固定しており、施工費用やはがした跡が残るなどの問題がありました。開発品は、滑り止め加工したゴムに装飾表示用フイルムを重ねることで、接着剤が不要で、簡単に移動することが可能です。今後、金融機関や量販店などのキャンペーン、告知用として販売拡大を図ってまいります。

2013年8月

「CSR報告書2013」を発行

2012年度のバンドーグループのCSR活動の取り組み実績を環境報告と社会性報告の形にまとめた「CSR報告書2013」を発行しました。

当社グループは、CSR推進テーマとして「コンプライアンス・企業倫理」「環境」「品質」「人権・労働・安全」「社会貢献」「情報開示」の6つを定めて活動を行っています。

詳細は当社ホームページにてご覧いただけます。(トップページ〈http://www.bando.co.jp〉より「CSRの取り組み」を選択し、「CSR報告書」をクリックしてください。)

2013年9月

連結子会社であるバンドー興産株式会社が当社足利工場内に「BANDO eco moving 足利太陽光発電所」を開設

当メガソーラー発電所は、足利工場内の約25,000㎡に太陽光パネルを設置したものであり、発電量は一般家庭約500世帯分の年間使用量に相当する約1,848Mwhで、足利市では最大規模となります。

当社グループは従来から省エネ製品の開発や事業活動で使用するエネルギーの削減、国内工場(和歌山・加古川・南海)への太陽光システムの導入等を通じて、環境にやさしい事業活動を推進していますが、今般、メガソーラー発電所の建設によって足利工場の遊休地の活用を図るとともに、再生可能エネルギーの普及に貢献してまいります。

特集 世界で活躍するバンドー製品

世界各国のグループ会社を通じて、グローバル化を推進

In Europe

日系自動車メーカーや現地自動車メーカーへの自動車部品(リブエース®)の納入をはじめ、欧州各地域でのマーケティング活動を展開しています。

In China

ベルト製品(伝動ベルト、搬送ベルト)は、様々な産業分野で使用され、地域ニーズに合致した製品を継続的に供給する体制を構築しています。

In Canada

オイルサンド採掘場では、耐寒・耐油仕様のコンベヤベルトを通じ、資源開発の現場を支えています。

In Korea

現地の大手自動車メーカーに自動車部品(リブエース®、オートテンショナ)を納入し、ファーストサプライヤーの地位を確立しています。産業用途では、密閉運搬が可能なパイプコンベヤベルトを納入し、荷こぼれの発生を防止し、周辺の環境保全に貢献しています。

In ASEAN

現地の日系食品メーカーの様々なニーズに応える高品質な樹脂コンベヤベルト(サンラインベルト®)を通じ、アセアン諸国の食品産業の発展に貢献しています。ベトナムでは、鉄道車両用難燃性ゴム床材(バンドーバンライト®)を通じ、鉄道車両の安全を支えています。

In Taiwan

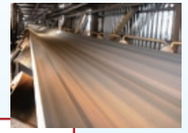
現地で人気の高いスクーターレース用ベルトを開発し、現地でのバンドーブランドの認知度とともに「BANDO=速いベルト」というベルト性能への評価も高まっています。産業用途では、鉄鋼メーカーの製鉄所に大型のスチールコードコンベヤベルトを納入しています。

In USA

日系自動車メーカーや現地自動車メーカーへの自動車部品(リブエース®)の採用拡大に伴い、米国でのバンドーブランドの浸透を進めています。

In Oceania

アルミの原料となるボーキサイト鉱山で使用される幅1m、長さ17kmクラスの長距離スチールコードコンベヤベルトを納入しています。



ベルトおよび機能製品分野において、「際立つ」グローバルサプライヤーを目指して。

バンドーグループは、1960年代後半から積極的に海外に進出してきました。特にアセアン諸国を中心としたアジア地域は、早くから進出し、現地社会での事業展開に地道な努力を続けてきたことで、自動車やバイク、スクーターに使われるベルトのシェアは高く、メジャーブランドとしての地位を確立しています。2012年以降ベトナムに進出したほか、インドに新しい工場を建設し、中国とタイに、現地の技術情報を収集する技術センターを設置しました。アジア新興国では、経済成長に伴い需要も急拡大しています。これまで培ってきた地域社会との信頼関係を基盤に、地域のニーズにマッチした製品をお届けし、さらなる成長を目指してまいります。

ベルト事業

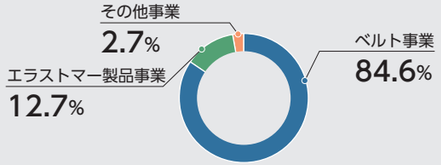
売上高 40,084百万円 前年同期比 9.1%増

セグメント利益 3,014百万円 前年同期比16.9%増

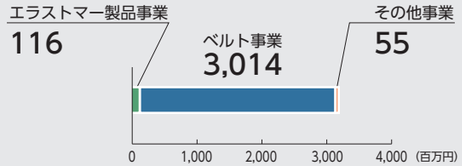
概況のポイント

- 自動車用では、海外における需要拡大と円安により、前年同期に比べ増加。
- 一般産業用では、国内は微増、アジア地域の市場拡大に伴い、前年同期に比べ増加。
- 搬送用では、石炭火力発電所向けの急傾斜用コンベヤベルトの受注堅調、海外の需要増加により、前年同期に比べ増加。

当第2四半期累計の事業別売上高構成比



当第2四半期累計のセグメント利益



エラストマー製品事業

売上高 6,004百万円 前年同期比 7.2%減

セグメント利益 116百万円 前年同期は▲4百万円

概況のポイント

- 電子写真出力機器分野では、クリーニングブレードは主要顧客の内製化の影響を受け、販売は前年同期に比べ減少したが、高機能ローラの販売では、新規案件の獲得により、販売が拡大。
- 工業用テープ基材では、前年同期に比べ販売が減少したが、装飾表示分野では前年同期に比べ販売が増加。

その他事業

売上高 1,270百万円 前年同期比 68.7%増

セグメント利益 55百万円 前年同期比 39.0%増

概況のポイント

- ロボット関連デバイス事業においては、新世代ロボット用クイックチェンジを発売。
- 金属ナノ粒子のナノ粒子創生技術を活かした新製品開発を推進。

● 連結貸借対照表（要旨）

(単位：百万円)

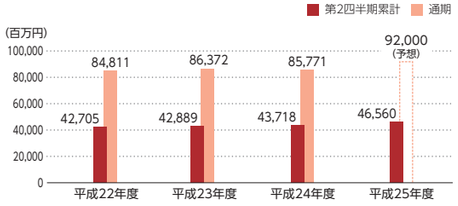
科目		当第2四半期末 (H25.9.30)	前期末 (H25.3.31)
資産の部	流動資産	42,887	41,872
	固定資産	43,495	40,334
	有形固定資産	30,674	28,433
	無形固定資産	1,076	1,111
	投資その他の資産	11,744	10,788
資産合計		86,383	82,207
負債の部	流動負債	25,989	26,145
	固定負債	12,110	12,836
負債合計		38,100	38,981
純資産の部	株主資本	48,132	45,750
	その他の包括利益累計額	△363	△2,975
	少数株主持分	514	450
純資産合計		48,282	43,225
負債純資産合計		86,383	82,207

● 連結損益計算書（要旨）

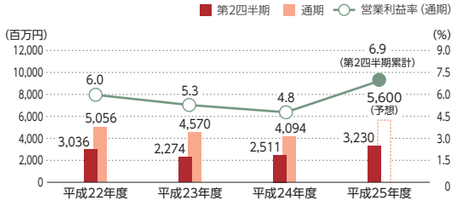
(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (H25.4.1 から H25.9.30まで)	前第2四半期累計期間 (H24.4.1 から H24.9.30まで)
売上高	46,560	43,718
営業利益	3,230	2,511
経常利益	3,705	2,769
税金等調整前四半期純利益	3,733	2,568
四半期純利益	2,762	1,752

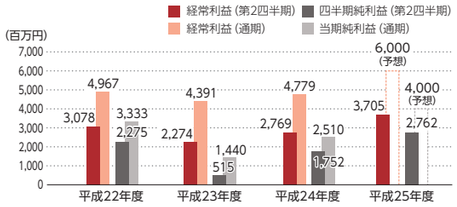
● 売上高



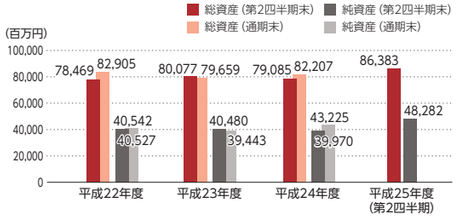
● 営業利益／営業利益率



● 経常利益／当期純利益



● 総資産／純資産



株式の状況／会社概要（平成25年9月30日現在）

● 株式の状況

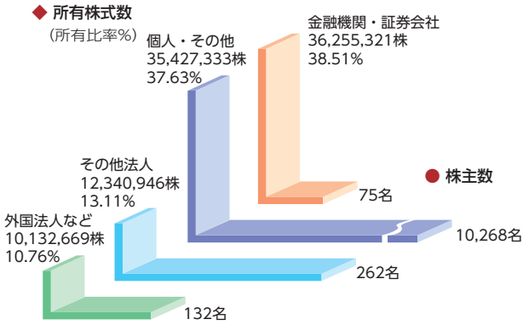
発行可能株式総数	378,500,000株
発行済株式の総数	94,427,073株 （自己株式270,804株を含む。）
株主数	10,738名

● 大株主

大株主名	当社への出資の状況 持株数	出資比率
バンドー共栄会	6,841 千株	7.26 %
株式会社三井住友銀行	4,651	4.93
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,004	4.25
明治安田生命保険相互会社	4,000	4.24
株式会社みずほ銀行	3,600	3.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,150	3.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,741	2.91
日本生命保険相互会社	2,642	2.80
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エス オムニバス アカウント	1,966	2.08
東京海上日動火災保険株式会社	1,839	1.95

（注）1. 出資比率は、自己株式数（270,804株）を控除して算出しております。
2. 上記の出資比率につきましては、小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。

● 株主構成



（注）株主構成は、自己株式数（270,804株）を控除して算出しております。

● 会社概要

社名	バンドー化学株式会社 Bando Chemical Industries, Ltd.
創業	1906年（明治39年）4月14日
設立	1937年（昭和12年）1月7日
本社事業所	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号 TEL（078）304-2923
ホームページアドレス	http://www.bando.co.jp

● 事業所

本店（本社事業所）・R&Dセンター（神戸市）
東京支店、名古屋支店
足利工場、和歌山工場・伝動技術研究所
南海工場（大阪府泉南市）、加古川工場

● 役員

取締役および監査役

取締役会長	小椋昭夫
取締役副会長	谷和義
代表取締役社長	吉井満隆（社長執行役員）
取締役	大原正夫（常務執行役員）
取締役	柏田真司（執行役員）
取締役	加登豊
常勤監査役	紀伊博
常勤監査役	宮本伸一郎
監査役	小川惠三
監査役	多田徹

執行役員

常務執行役員	岩井啓次
常務執行役員	玉垣嘉久
常務執行役員	北林雅之
常務執行役員	鮫嶋壽
執行役員	大嶋義孝
執行役員	中村恭祐
執行役員	Joseph David Laudadio
執行役員	畑克彦
執行役員	山口勝也

※取締役 加登 豊氏は社外取締役であります。
※常勤監査役 紀伊 博氏、監査役 小川 惠三氏、監査役 多田 徹氏は社外監査役であります。

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

当社の単元株式数は1,000株となっていますので、皆様がご所有の当社単元未満株式（1,000株未満の株式）につきましては、証券市場での売買ができない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。
当社では、このようなご不便を解消するために、単元未満株式の「買取り」または「買増し」を当社に請求できる制度を実施していますので、下記のとおりご案内申しあげます。

記

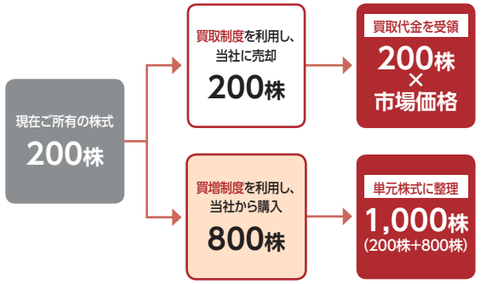
1. 単元未満株式の買取・買増制度の概要

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取るよう請求できる制度です。
（例）当社株式を200株ご所有の場合、その200株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。

買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。
（例）当社株式を200株ご所有の場合、800株を市場価格で当社から購入し、1,000株にする。



2. お手続きの方法

単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なりますので、ご留意ください。

◎ 証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社（口座管理機関）にお問い合わせください。

◎ 特別口座に記録されている単元未満株式
三菱UFJ信託銀行(株)（特別口座の口座管理機関）にお問い合わせください。

※ 特別口座とは、株券電子化実施日において「(株)証券保管振替機構（ほふり）」をご利用でない株主様（例：株券をご自宅や貸金庫に保管されている方）の権利を確保するために、当社が当該株主様の名義で開設した口座です。

3. 手数料

単元未満株式が記録されている口座	当社に対する手数料	口座管理機関に対する手数料
証券会社の口座	無料	お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
特別口座		無料

4. ご注意事項

（1）買取価格および買増価格は、当該請求が当社の株主名簿管理人の事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格に当該請求株式数を乗じた額となります。
（2）買取請求および買増請求をされた後の取り消しはできません。
（3）決算期の基準日直前など、請求の受付を停止する期間があります。
（4）買増制度を利用し単元株式に整理されても、特別口座のままでは市場での売却はできません。証券会社の口座にお振替えいただくことが必要となります。

このご案内は、単元未満株式の買取請求または買増請求を強制するものではありません。
請求に際しましては、株主様ご自身でご判断くださいますようお願い申しあげます。
なお、本状と行き違いにご請求済みの場合は、ご容赦くださいますようお願い申しあげます。

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月
期末配当金受領株主確定日	毎年３月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年９月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502　大阪市中央区伏見町３丁目６番３号 TEL（通話料無料）　0120-094-777
公告掲載新聞	日本経済新聞・神戸新聞
上場取引所	東京（第１部）

〈ご注意〉

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

BANDO

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022337
www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK
UD FONT
バンドーグループは
環境にやさしい事業を
推進しています
eco moving